

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公表番号】特表2009-502863(P2009-502863A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-523331(P2008-523331)

【国際特許分類】

C 07 D 487/04 (2006.01)

【F I】

C 07 D 487/04 1 4 2

C 07 D 487/04 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月17日(2009.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

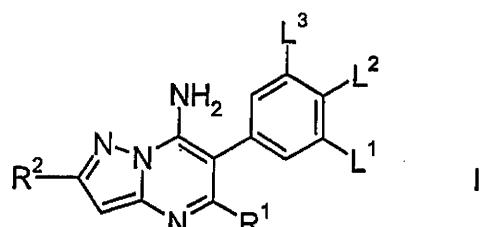
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式Iの6-フェニルピラゾロピリミジン-7-イルアミン

【化1】



(式中の置換基は下記のとおり定義される：

L¹、L²、L³は互いに独立して、水素、ハロゲン、ヒドロキシル、メルカプト、二トロ、NR^AR^B、C₁-C₁₀-アルキル、C₁-C₄-ハロアルキル、C₂-C₆-アルケニル、C₂-C₆-アルキニル、C₁-C₈-アルコキシ、フェニル、フェノキシ、フェニルチオ、ベンジルオキシ又はベンジルチオであり；

R^A、R^Bは、水素又はC₁-C₆-アルキルであり；

ここで、L¹、L²及びL³からなる群からの二つの隣接する基は一緒になって、C₁-C₄-アルキレン、C₂-C₄-オキシアルキレン、C₁-C₃-オキシアルキレンオキシ又はブタジエニル基であってもよく；

ここで、少なくとも一つの基L¹、L²又はL³は水素でなく、そして基L¹、L²又はL³は非置換であるか又は1~4個の同一の若しくは異なる基R^aで置換されており：

R^aは、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、メルカプト、C₁-C₁₀-アルキル、C₁-C₁₀-ハロアルキル、C₃-C₈-シクロアルキル、C₂-C₁₀-アルケニル、C₂-C₁₀-アルキニル、C₁-C₆-アルコキシ、C₁-C₆-アルキルチオ、C₁-C₆-アルコキシ-C₁-C₆-アルキル又はNR^AR^Bであり；

R¹は、C₁-C₄-ハロアルキル、C₂-C₆-アルケニル、C₂-C₆-アルキニル、C₂-C₈-アルコキシアルキル又はフェニル-C₁-C₂-アルキルであり、ここ

で、環は非置換であるか又は1個若しくはそれ以上のハロゲン若しくはC₁ - C₈ - アルキル基で置換されていてもよく；

R²は、水素、ハロゲン、シアノ、NR^AR^B、ヒドロキシル、メルカプト、C₁ - C₆ - アルキル、C₁ - C₆ - ハロアルキル、C₃ - C₈ - シクロアルキル、C₁ - C₆ - アルコキシ、C₁ - C₆ - アルキルチオ、C₃ - C₈ - シクロアルコキシ、C₃ - C₈ - シクロアルキルチオ、カルボキシル、ホルミル、C₁ - C₁₀ - アルキルカルボニル、C₁ - C₁₀ - アルコキカルボニル、C₂ - C₁₀ - アルケニルオキシカルボニル、フェニル、フェノキシ、フェニルチオ、ベンジルオキシ、ベンジルチオ、C₁ - C₆ - アルキル-S(O)_m - 又はO、N及びSからなる群からの1~4個のヘテロ原子を含有する5若しくは6員の飽和の、部分不飽和の若しくは芳香族のヘテロ環であり；

mは、0、1又は2であり；

ここで、L¹、L²、L³、R^a及び/又はR¹における環状基は、非置換であるか又は1~4個の基R^bで置換されており：

R^bは、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、メルカプト、ニトロ、NR^AR^B、C₁ - C₁₀ - アルキル、C₁ - C₆ - ハロアルキル、C₂ - C₆ - アルケニル、C₂ - C₆ - アルキニル、C₁ - C₆ - アルコキシ、又はO、N若しくはSからなる群からの1~4個のヘテロ原子を含有する5若しくは6員の飽和の、部分不飽和の若しくは芳香族のヘテロ環であり、これは非置換であってよく又は1個若しくはそれ以上のハロゲン及び/又はC₁ - C₄ - アルキル基で置換されていてもよい)。

【請求項2】

R¹がCF₃、或いは置換されていないか、又はフェニル部分においてハロゲン若しくはC₁ - C₄ - アルキル基で置換されているベンジルである、請求項1に記載の式Iの化合物。

【請求項3】

R²がメチル又はアミノである、請求項1又は2に記載の式Iの化合物。

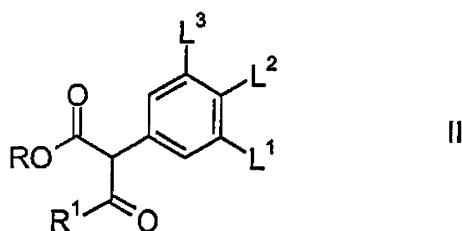
【請求項4】

L³が水素である、請求項1~3の何れかに記載の式Iの化合物。

【請求項5】

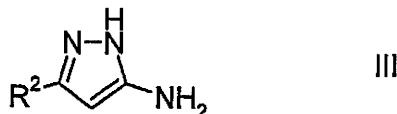
式IIの-ケトエステル

【化2】



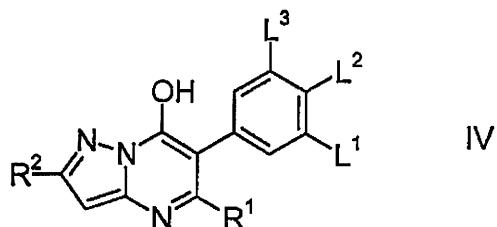
(式中、RはC₁ - C₄ - アルキルである)を式IIIのアミノピラゾール

【化3】



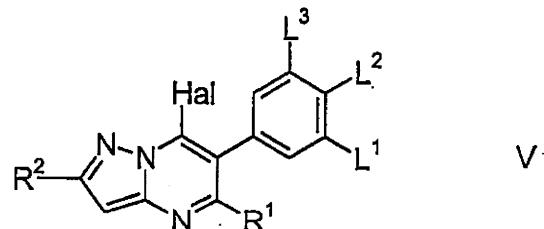
と反応させて式IVの7-ヒドロキシピラゾロピリミジン

【化4】



を与え、これをハロゲン化して式Vの化合物

【化5】



(式中、Halは塩素又は臭素である)を与え、そしてVをアンモニアと反応させる、請求項1~4の何れかに記載の式Iの化合物の製造方法。

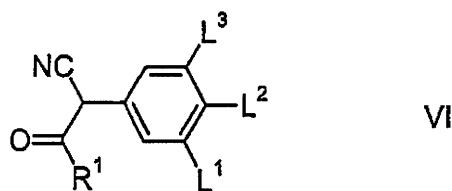
【請求項6】

請求項5に記載の式IV又はVの化合物。

【請求項7】

式VIのアシリルシアン化物

【化6】



を請求項5に記載の式IIIのアミノピラゾールと反応させる、請求項1に記載の式Iの化合物の製造方法。

【請求項8】

固体又は液体の担体及び請求項1に記載の式Iの化合物を含む殺菌性組成物。

【請求項9】

100kg当たり1~1000gの量で請求項1に記載の式Iの化合物を含む種子。

【請求項10】

真菌又は真菌の攻撃から保護すべき材料、植物、土壤若しくは種子を有効量の請求項1に記載の式Iの化合物で処理する、植物病原性有害真菌の防除方法。